

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	在宅医療・介護連携推進事業	コード	2209
-------	---------------	-----	------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 介護福祉課	作成者 矢澤 亜矢
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	福祉の推進	施 策	高齢者福祉の推進
		予算科目	包括的支援事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	介護保険法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するため、医療機関と介護事業所などの関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を目指す。		
目的	対象者	医療・介護サービスを必要とする高齢者	
	意 図	切れ目のない在宅医療と介護サービスが一体的に提供される体制の構築を図る。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>3月～4月…代表者部会メンバー決め 6月…第1回代表者部会（施策マップ案の内容検討） 7月…医師会とケアマネとの懇談会 8月…第2回代表者部会（施策マップ案の内容確認、部会設置について） 9月…第1回主任ケアマネ部会（在宅医療介護ガイドマップの作成について検討） 10月…民生児童委員とケアマネとの意見交換会 11月…人生会議（ACP）についての学習会①（ケアマネジメント研究部会）講師：社会福祉法人 平成会 特定行政書士 宮澤優一氏 12月…第1回病診連携部会、第1回職能部会、第1回入退院情報連携部会（個々の検討課題やスケジュールの確認） 1月…第3回代表者部会（検討委員会での報告・協議内容の確認等） 2月…各医療介護関係者に在宅医療介護ガイドマップ作成依頼 人生会議（ACP）についての学習会②（ケアマネジメント研究部会）講師：岡谷市民病院訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 牛澤弘恵氏 第3回検討委員会 諏訪地域在宅医療・介護連携推進協議会 実務担当者による検討会（諏訪地域の介護保険利用者等の入退院に関する医療・介護の情報共有例について）</p>		
前年度の課題への対応	令和元年度は、昨年度実施した市民・専門職アンケートの結果から施策マップを作成し、取り組みの具体的な内容検討を行った。また、5部会（代表者部会、病診連携部会、職能部会、入退院情報連携部会、主任ケアマネ部会）を立ち上げ、課題の検討を始めることができた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	検討委員会、部会の開催数			単位	回
実績値		1	8		
*指標の説明					
② 成果指標（指標名）	在宅医療介護連携推進のための研修会等			単位	回
目標値		1	1		
実績値		1	4		
達成度	-	100.0%	400.0%		
*指標の説明					
*目標値の設定方法の説明					

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	0	872,536	780,180	2,277,000
経常経費		872,536	780,180	2,277,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	0	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)		1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	0	8,872,536	8,780,180	10,277,000
前年度比		-	99.0%	117.0%
財源				
一般財源	0	0	0	0
内訳				
特定財源		8,872,536	8,780,180	10,277,000
* 特定財源の説明	諏訪広域連合地域支援事業受託収入			
④ 活動一単位あたりコスト	-	8,872,536	1,097,523	
前年度比		-	12.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	-	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	400.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	400.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市だけでは進められない事業であり、医師会や医療機関、介護支援事業所との緊密な連携が必要。 ・5部会の設置により、業務量が増大している。 ・岡谷市単独ではなく、広域的な連携・協力が必要な事項がある。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を推進するにあたり、適任の場所に事業内容の一部委託等実施していく。 ・広域的な協力・連携が必要な事項については、諏訪地域在宅医療介護連携推進協議会への提言を行う他、他市町村の担当者との情報交換等を行い、協力を仰ぐ。 	
	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	--	---